



2021年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年2月12日

上場会社名 ワタミ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 7522 URL <http://www.watami.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼グループCEO (氏名) 渡邊 美樹
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経営企画本部長 (氏名) 桂木 宏昌 TEL 03-5737-2703
 四半期報告書提出予定日 2021年2月12日
 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無: 無
 四半期決算説明会開催の有無: 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	46,521	△33.3	△6,924	-	△5,917	-	△8,539	-
2020年3月期第3四半期	69,815	△3.1	333	△55.4	597	△34.3	△352	-

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 △8,863百万円 (-%) 2020年3月期第3四半期 △498百万円 (-%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	△216.41	-
2020年3月期第3四半期	△8.96	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第3四半期	47,376	5,662	11.4	137.08
2020年3月期	41,763	14,481	34.1	361.70

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 5,418百万円 2020年3月期 14,244百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	-	0.00	-	2.50	2.50
2021年3月期	-	0.00	-		
2021年3月期(予想)				0.00	0.00

2021年3月期の配当予想につきましては、現時点では無配を予定しております。

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	62,398	△31.3	△9,957	-	△8,565	-	△11,663	-	△295.57

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無: 有

※2020年11月13日に公表した決算短信では、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、合理的に算定することが困難なことから未定としておりましたが、この度、最近の状況を踏まえ、通期連結業績予想をお知らせします。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- | | |
|----------------------|-----|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| ② ①以外の会計方針の変更 | : 無 |
| ③ 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| ④ 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期3Q	41,686,780株	2020年3月期	41,686,780株
② 期末自己株式数	2021年3月期3Q	2,158,706株	2020年3月期	2,303,912株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期3Q	39,459,380株	2020年3月期3Q	39,309,054株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績の状況	2
(2) 財政状態の分析	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10
(追加情報)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、当第3四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

(1) 経営成績の状況

当四半期連結会計期間におけるわが国の経済は、2020年4月に新型コロナウイルス感染症の蔓延に伴う緊急事態宣言が発令され、以降も当第3四半期連結会計期間にかけて感染者が拡大し経済活動が大きく抑制された結果、個人消費や企業収益が急速に悪化するなど、極めて厳しい状況で推移いたしました。また国外におきましても、新型コロナウイルス感染症の蔓延に伴う景気の減速懸念により、先行き不透明な状況で推移いたしました。

当社グループはこのような環境下においても、「地球上で一番たくさんのありがとうを集めるグループになろう」というグループスローガンのもと、各事業分野においてお客様のありがとうを集める活動を展開してまいりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

①国内外食事業

国内外食事業におきましては、80店舗の新規出店と113店舗の撤退を行い、当四半期連結会計期間末の店舗数は458店舗となりました。前期より発生しております新型コロナウイルス感染症の影響により、既存店売上高前年比は36.3%、既存店客数前年比は37.3%となっております。

その結果、国内外食事業における売上高は13,691百万円（前年同期比37.8%）、セグメント損失は7,125百万円（前年同期は428百万円の利益）となりました。

②宅食事業

宅食事業におきましては、当四半期連結会計期間末の営業拠点数は527ヶ所となりました。調理済み商品の累計お届け数は46,837千食（前年同期比104.8%）となっております。このように調理済み商品のお届け数が前年を上回ったことに加え、長崎工場の資産譲渡等による宅食工場の統合・集約等を進めたことにより、売上高は27,705百万円（前年同期比105.1%）、セグメント利益は2,380百万円（前年同期比145.0%）となりました。

③海外外食事業

海外外食事業におきましては、5店舗の新規出店と10店舗の撤退を行い、当四半期連結会計期間末の店舗数は48店舗となりました。直営店舗の客数前年比は59.3%となっております。新型コロナウイルス感染症の影響により、減収減益となっております。

その結果、海外外食事業における売上高は3,062百万円（前年同期比60.3%）、セグメント損失は655百万円（前年同期は153百万円の損失）となりました。

④環境事業

環境事業におきましては、電力小売事業を中心に展開しております。新型コロナウイルス感染症の影響があったものの、電源調達構成の見直し等により、減収ながらも増益となっております。

その結果、売上高は1,635百万円（前年同期比92.5%）、セグメント利益は109百万円（前年同期比105.4%）となりました。

⑤農業

農業におきましては、有機農産物の生産、酪農畜産及び乳加工品製造を行っております。売上高は383百万円（前年同期比113.4%）、セグメント損失は129百万円（前年同期は127百万円の損失）となりました。

当第3四半期連結累計期間における当社グループの成果は、宅食事業における増収が進む一方で、新型コロナウイルス感染症の影響により、国内外食事業及び海外外食事業における減収減益などがあったことから、売上高は46,521百万円（前年同期比66.6%）となり、営業損失は6,924百万円（前年同期は333百万円の利益）、経常損失は5,917百万円（前年同期は597百万円の利益）、親会社株主に帰属する四半期純損失は8,539百万円（前年同期は352百万円の損失）となりました。

新型コロナウイルスの感染拡大による影響を最も大きく受けている国内外食事業においては、2020年4月から5月の緊急事態宣言（全国を対象）発令期間を含む第1四半期会計期間には既存店売上高前年比が15.1%まで低下しましたが、緊急事態宣言の解除後には自立回復の傾向が表れるとともに、政府によるG・O・T・O施策の影響もあり、第2四半期会計期間に44.5%、当第3四半期会計期間には53.1%まで回復しました。同事業のセグメント損失も第1四半期会計期間3,311百万円（店舗臨時休業による損失729百万円を除く）、第2四半期会計期間2,032百万円と比較して当第3四半期会計期間は1,781百万円と改善しております。これは、前述の既存店売上高の回復に加えて、不採算店舗撤退による損失の縮小及び関西工場、相模原工場の資産譲渡等による国内外食工場の統合・集約等の固定費削減施策、居酒屋業態から「焼肉の和民」への業態転換（当第3四半期累計期間末：15店舗）、フランチャイ

ズモデルでテイクアウト・デリバリー主体の「から揚げの天才」の出店強化（当第3四半期累計期間末：77店舗）等の施策の効果によるものです。

宅食事業においては、コロナ禍の外出自粛による宅配需要と健康意識の高まりに対応し、緊急事態宣言下での休校支援アイテム強化や在宅支援サービス営業強化等の結果、食事宅配は1日の利用が前年比2万食増の24万食に増え、業績が好調に推移しております。

その結果、親会社株主に帰属する四半期純損失は第1四半期会計期間の4,550百万円から第2四半期会計期間の2,605百万円、当第3四半期会計期間には1,384百万円に改善しております。

なお、2021年1月に再度の緊急事態宣言（11都府県を対象とした飲食店に対する営業時間の短縮要請）が発令されており、国内外食事業における2021年1月の既存店売上高前年比は38.0%、既存店客数前年比は61.0%となっております。

現在発令中の緊急事態宣言の解除時期は不透明であるものの、国内では新型コロナウイルスのワクチン接種スケジュールについて具体的な議論がされている状況であり、これに伴う消費者の行動様式の変化も見込まれております。当社グループにおいても、国内外食事業においては工場の統合・集約の実行、グループ外企業への出向や人件費の削減等の施策による更なる固定費の削減、テイクアウト・デリバリー業態の展開及び居酒屋業態店舗から焼肉業態店舗への転換等の施策を推進すること、緊急事態宣言下も堅調である宅食事業においては野菜宅配サービスの導入開始、大手乳飲料メーカーアイテムの販売開始、及び同社販売網の利用による拡販効果が見込まれることで、緊急事態宣言の解除後は当社グループの業績がさらに改善すると考えております。

（2）財政状態の分析

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末（以下「前期末」という。）比5,612百万円増加して47,376百万円となりました。流動資産は、借入金の借入による現金預金の増加等により前期末比7,355百万円増加の28,895百万円となりました。固定資産は、前期末比1,742百万円減少の18,480百万円となりました。固定資産のうち有形固定資産は、国内の外食店舗設備等の減価償却費等により前期末比520百万円減少の9,765百万円となりました。無形固定資産は、ソフトウェアの償却等により前期末比27百万円減少の1,292百万円となりました。投資その他の資産は、差入保証金の減少等により前期末比1,193百万円減少の7,423百万円となりました。

当第3四半期連結会計期間末の負債の合計は、前期末比14,432百万円増加の41,714百万円となりました。流動負債は、借入金の借入等の増加により前期末比5,670百万円増加の22,058百万円、固定負債は、長期借入金の増加等により前期末比8,761百万円増加の19,655百万円となりました。このうち有利子負債（短期借入金、長期借入金、社債及びリース債務の合計額）は、前期末比12,671百万円増加の27,327百万円となりました。

当第3四半期連結会計期間末の純資産の部は、利益剰余金の減少等により前期末比8,819百万円減少の5,662百万円となりました。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	15,880	22,199
売掛金	2,740	2,685
商品及び製品	349	307
仕掛品	169	51
原材料及び貯蔵品	563	538
その他	1,868	3,121
貸倒引当金	△30	△7
流動資産合計	21,540	28,895
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	6,350	5,989
機械装置及び運搬具	812	707
土地	548	398
リース資産	1,693	2,112
建設仮勘定	351	146
その他	530	411
有形固定資産合計	10,286	9,765
無形固定資産	1,320	1,292
投資その他の資産		
投資有価証券	201	133
差入保証金	7,184	6,518
繰延税金資産	-	8
投資固定資産	17	14
その他	1,334	860
貸倒引当金	△121	△112
投資その他の資産合計	8,617	7,423
固定資産合計	20,223	18,480
資産合計	41,763	47,376

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,752	2,920
短期借入金	6,953	10,330
リース債務	837	941
1年内償還予定の社債	100	100
未払金	2,234	4,224
未払法人税等	294	451
未払費用	2,301	1,981
賞与引当金	295	387
販売促進引当金	87	109
その他	530	611
流動負債合計	16,388	22,058
固定負債		
長期借入金	4,560	13,375
リース債務	1,854	2,279
社債	350	300
資産除去債務	2,947	2,403
その他	1,181	1,296
固定負債合計	10,894	19,655
負債合計	27,282	41,714
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,410	4,410
資本剰余金	5,002	5,002
利益剰余金	8,326	△414
自己株式	△3,668	△3,436
株主資本合計	14,071	5,561
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4	7
為替換算調整勘定	169	△150
その他の包括利益累計額合計	173	△143
新株予約権	98	94
非支配株主持分	138	148
純資産合計	14,481	5,662
負債純資産合計	41,763	47,376

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
売上高	69,815	46,521
売上原価	28,876	22,008
売上総利益	40,939	24,512
販売費及び一般管理費	40,605	31,436
営業利益又は営業損失(△)	333	△6,924
営業外収益		
受取利息	47	59
設備賃貸収入	191	186
協賛金収入	153	89
助成金収入	63	1,090
雑収入	281	361
営業外収益合計	737	1,786
営業外費用		
支払利息	130	205
設備賃貸費用	194	216
持分法による投資損失	14	38
支払補償費	80	-
雑損失	54	318
営業外費用合計	473	779
経常利益又は経常損失(△)	597	△5,917
特別損失		
固定資産除却損	75	225
減損損失	461	1,412
店舗臨時休業による損失	-	729
特別損失合計	536	2,367
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	60	△8,284
法人税、住民税及び事業税	290	291
法人税等調整額	147	△28
法人税等合計	437	262
四半期純損失(△)	△376	△8,546
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△24	△6
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△352	△8,539

(四半期連結包括利益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純損失(△)	△376	△8,546
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1	3
為替換算調整勘定	△156	△322
持分法適用会社に対する持分相当額	33	2
その他の包括利益合計	△121	△316
四半期包括利益	△498	△8,863
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△473	△8,856
非支配株主に係る四半期包括利益	△24	△6

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	60	△8,284
減価償却費	2,162	1,890
減損損失	461	1,412
支払補償費	80	-
賞与引当金の増減額(△は減少)	△372	94
販売促進引当金の増減額(△は減少)	37	22
受取利息及び受取配当金	△47	△59
支払利息	130	205
固定資産除却損	75	225
差入保証金償却額	21	41
預り金の増減額(△は減少)	67	△5
売上債権の増減額(△は増加)	△1,058	51
たな卸資産の増減額(△は増加)	△121	179
立替金の増減額(△は増加)	30	△262
未収入金の増減額(△は増加)	74	△87
仕入債務の増減額(△は減少)	273	172
未払金の増減額(△は減少)	309	2,058
未払費用の増減額(△は減少)	2	△314
未払消費税等の増減額(△は減少)	125	△180
店舗臨時休業による損失	-	729
その他	△41	△352
小計	2,269	△2,463
利息及び配当金の受取額	7	55
補償費の支払額	△80	-
店舗臨時休業に伴う支払	-	△615
利息の支払額	△120	△203
法人税等の支払額	△655	△314
法人税等の還付額	5	73
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,426	△3,469
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△2,826	△1,706
有形固定資産の売却による収入	19	252
無形固定資産の取得による支出	△367	△232
資産除去債務の履行による支出	△118	△892
定期預金の預入による支出	△4,879	△5,638
定期預金の払戻による収入	4,860	2,774
投資有価証券の取得による支出	△79	△1
差入保証金の差入による支出	△265	△111
差入保証金の回収による収入	61	594
貸付けによる支出	△4	△0
貸付金の回収による収入	25	4
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	-	△2
その他	△47	594
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,620	△4,364

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	-	10,500
短期借入金の返済による支出	△300	△7,500
長期借入れによる収入	2,499	11,032
長期借入金の返済による支出	△1,197	△1,841
社債の発行による収入	500	-
社債の償還による支出	-	△50
自己株式の取得による支出	△0	△0
自己株式の処分による収入	356	75
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△720	△708
配当金の支払額	△291	△99
財務活動によるキャッシュ・フロー	847	11,409
現金及び現金同等物に係る換算差額	△47	△20
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,393	3,554
現金及び現金同等物の期首残高	9,946	10,922
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	-	69
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,553	14,546

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	国内 外食	宅食	海外 外食	環境	農業	計				
売上高										
外部顧客への売上高	36,260	26,367	5,079	1,769	338	69,815	-	69,815	-	69,815
セグメント間の内部 売上高又は振替高	31	-	-	464	252	747	-	747	△747	-
計	36,292	26,367	5,079	2,233	590	70,563	-	70,563	△747	69,815
セグメント利益又は 損失(△)	428	1,642	△153	103	△127	1,893	-	1,893	△1,559	333

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,893
その他	-
全社費用(注)	△1,559
その他の調整額	-
四半期連結損益計算書の営業利益	333

(注) 全社費用は、主にグループ全体の管理業務に係る費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「国内外食」セグメントにおいて、撤退予定等の店舗資産に係る減損損失344百万円、「海外外食」セグメントにおいて、撤退予定等の店舗資産に係る減損損失116百万円をそれぞれ計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては461百万円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

記載すべき事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

記載すべき事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注)	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	国内 外食	宅食	海外 外食	環境	農業	計				
売上高										
外部顧客への売上高	13,691	27,705	3,062	1,635	383	46,479	42	46,521	-	46,521
セグメント間の内部 売上高又は振替高	7	-	-	321	144	473	1	475	△475	-
計	13,698	27,705	3,062	1,957	528	46,953	44	46,997	△475	46,521
セグメント利益又は 損失(△)	△7,125	2,380	△655	109	△129	△5,420	△27	△5,447	△1,477	△6,924

(注)「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、農業テーマパーク事業及び労働者派遣事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	△5,420
その他	△27
全社費用(注)	△1,477
その他の調整額	-
四半期連結損益計算書の営業損失	△6,924

(注) 全社費用は、主にグループ全体の管理業務に係る費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「国内外食」セグメントにおいて、撤退予定等の店舗資産等に係る減損損失1,305百万円、「海外外食」セグメントにおいて、撤退予定等の店舗資産に係る減損損失107百万円をそれぞれ計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては1,412百万円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

記載すべき事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

記載すべき事項はありません。

(追加情報)

※店舗臨時休業による損失

新型コロナウイルス感染症に対する政府、自治体からの各種要請等を踏まえ、店舗の臨時休業を行いました。当該店舗の臨時休業期間中に発生した固定費(地代家賃・リース料・減価償却等)を店舗臨時休業による損失として、特別損失に計上しております。